

令和元年6月27日

教育関係機関長  
高等学校長 様  
教職員  
関係者

北海道高等学校教育経営研究会  
会長 辻 敏 裕

令和元年度北海道高等学校教育経営研究会夏期シンポジウムの開催に  
ついて（ご案内）

初夏の候 皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

また、本会の研究活動に平素から高い関心とご支援を賜っておりますことに、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、高等学校学習指導要領の改定に伴い、総合的な探究の時間についてはすでに今年度から先行実施されており、いよいよ2022（令和4）年度からの年次進行による本格実施に向けて各学校においては教育課程の編成を進めているところと推察いたします。

これまで、本会では、シティズンシップ教育を核とした主権者教育の推進を提言するとともに、中教審答申を踏まえながら、新学習指導要領のポイントを探り、身近な教育改革をテーマに、各学校における課題などについて議論を深めてまいりました。

こうした中、今回のシンポジウムでは「社会に開かれた教育課程を各学校が創る上で、そもそも社会に開かれたをどうとらえるか、何が課題で、何が必要か」などをテーマに、埼玉大学教育学部教授 桐谷 正信 氏を講師にお迎えし、ご講演を賜るとともに、ご参会の皆様方と新学習指導要領の実施、そして社会に開かれた教育課程の編成に向けた取組への議論を交え、その理解と促進を図ることといたしました。

つきましては、公務ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解のうえ、貴職の参加並びに学校運営の実務に携わる副校長・教頭や部長主任をはじめとした関係教職員へのご案内とご派遣について特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

〈添付資料〉

- 1 令和元年度夏期シンポジウム開催要項
- 2 参加申込書

# 令和元年度 北海道高等学校教育経営研究会夏期シンポジウム開催要項

## 1 研究主題と研究課題

(1) 研究主題 北海道を元気にする高校教育

(2) 研究課題 「社会に開かれた教育課程」の創造に向けて

新学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」が重視されており、「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善、「カリキュラムマネジメント」の確立が求められています。また、教科・科目構成の見直しがなされており、「総合的な学習の時間」は「総合的な探究の時間」となり、今年度から各学校において先行実施されています。さらに、「大学入学共通テスト」の2020年度実施に向け、その準備が着々と進められていますが、課題が山積しており、各学校ではその対応に苦慮しているところと思います。

今回のシンポジウムでは、新学習指導要領の実施に向けての喫緊の課題である「社会に開かれた教育課程」の編成など、各学校における取組をどのように進めて行けばよいか、埼玉大学 桐谷正信教授に加え、北海道札幌東高等学校 河原範毅校長、北海道札幌南陵高等学校 柴田健一校長、北海道白老東高等学校 城戸和彦校長とともに、一つひとつの課題に真摯に向き合い、北海道における「新しい時代の高校教育の在り方」について議論を深めてまいります。

2 期 日 令和元年8月3日(土)

3 会 場

学校法人北海学園  
シンポジウム会場 北海商科大学2号館5階 多目的ホール

札幌市豊平区豊平6条6丁目10番地  
TEL (011)841-1161 (代)  
地下鉄東豊線「学園前」駅4番出口直結  
※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用ください。

教育懇談会会場 札幌ガーデンパレス

札幌市中央区北1条西6丁目  
TEL (011)261-5311 (代)

4 日 程

9:30 10:00 10:20 11:50 13:00 15:00 15:30 17:00 18:00

受付	開講式	基調講演	昼食休憩	シンポジウム	休憩	実践発表	閉講式	移動	教育懇談会 (札幌ガーデンパレス)
			総会 ~12:15						

## 5 講師・シンポジスト

- (1) 基調講演 [10:20~11:50]  
(演題) 「社会に開かれた教育課程とカリキュラムマネジメント」(仮題)  
(講師) 埼玉大学教育学部教授 桐谷正信

長年にわたり、教科教育やシティズンシップ教育、カリキュラムに関わる研究者の視点からの、貴重なお話を拝聴できます！

- (2) シンポジウム 「社会に開かれた教育課程の創造」 [13:00~15:00]

《シンポジスト》 埼玉大学教育学部教授 桐谷正信  
北海道札幌東高等学校長 河原範毅  
北海道札幌南陵高等学校長 柴田健一  
北海道白老東高等学校長 城戸和彦  
《コーディネーター》 北海商科大学教授 堂徳将人

新学習指導要領の本格実施に向け、規模や学校の特色が異なる道内3校の高等学校における、現在進行中のカリキュラム編成や教育内容の改善・充実に向けた取組などの具体的なお話を伺うとともに、基調講演をいただく桐谷先生の研究者としての視点からのご発言をいただきながら、社会に開かれた教育課程の創造について議論を深めていきます！

- (3) 実践発表 「社会に開かれた教育課程に向けた実践」 [15:30~17:00]

《発表者》 北海道上富良野高等学校教頭 千葉哲也  
北海道札幌英藍高等学校教頭 谷尊仁  
市立札幌開成中等教育学校教諭 松澤剛  
《司会》 北海道遠軽高等学校長 山崎誠

社会に開かれた教育課程の実現に向けて、教科科目や単位制、バカロレア教育などの視点からの現場での実践事例についてご発表いただき、フロアも交えて、今後の方向性も含めて、議論を深めていきます！

## 6 参加申込

- (1) 申込方法 別紙『メール送信票』、もしくは、所属名、参加者名、職名、参加区分をメール本文に記載し、下記アドレスに送信をお願いします。

問合わせ

北海学園大学 内  
講師 小形 秀雄 (高経研事務局担当)  
Mail: ogata@hgu.jp

- (2) 申込期日 令和元年7月19日(金) 必着といたします。  
(3) 参加料等 当日シンポジウム会場受付で納入をお願いいたします。

**参加料 3,000円**

※ 参加料には研究紀要代1,000円が含まれています。

**教育懇談会費 5,000円**

※1 事前に参加申込された方のみ徴収いたします。なお、当日のキャンセルについてはご容赦願います。

※2 参加とは別に会員の入会を受け付けます。詳細は事務局までお問い合わせ願います。

- (4) その他 昼食は会場周辺の飲食店の利用をお願いいたします。

# メー ル 送 信 票



発信年月日	令和 元 年      月      日      (      )			
送 信 先	高経研事務局 小 形 秀 雄 宛 (メールアドレス      ogata@hgu.jp )			
件 名	令和元年度高経研夏期シンポジウムの参加申込について			
送 信 元	氏 名			
	所 属			
	電話番号			
参 加 区 分	① シンポジウム及び教育懇談会に参加 ② シンポジウムのみ参加 ③ 教育懇談会のみ参加 ※ 区分内容には、上記①から③のいずれかの該当番号を記入してください。			
参 加 者 名	所 属 名	職 名	氏 名	区分内容
質 問 ・ 意 見 欄				